

# かちがらす



SAGA UNIVERSITY Magazine

佐賀大学広報誌



No. **46**  
2022

- 特集 コミュニケーションで広がる未来
- 社会で輝く先輩からのメッセージ
- 教育・研究 Report
  - 人の想像力と心の豊かさを育み異文化理解に通じる「妖精学」研究
  - 画家、教員、YouTuberとして学生と共にキャンパスに向かう
  - 感染制御部が勧める新型コロナ対策は基本的な取り組みと心の安定が第一
  - 本学独自のラマン光学活性分光法で光受容タンパク質の構造を解明
  - ノリの健康増進機能を引き出し新しい発酵食品を完成
  - 全国女性技術職員による親子のためのオンラインサイエンスイベントに参画
- イキイキ佐大生／経済学部経済法学科4年 榎岡 明音さん 教育学部小中連携教育コース3年 北原 誠大さん
- サークル紹介／「医学部軽音楽部」・「アメリカンフットボール部」
- お知らせ

●特集●



# コミュニケーションで 広がる未来

人と人だけでなく、情報や研究と社会を結ぶのも大学の重要なコミュニケーションです。ツールを駆使して情報発信する学生、研究と産業を仲介する専任職員の活動を紹介します。

村上茜さんは表現活動をしている学生を紹介しようと、学生活動誌『MÉMOIRE（メモア）』を制作。編集長として後輩たちをまとめ、企画から取材・デザインまで担いました。宮崎真優さんは佐賀新聞社が発行しているタブロイド紙『Fit ECRU』の学生編集部誌（フィットエクリュ）の学生編集部誌面の制作に同級生と参加し、取材・執筆を担当しました。

相崎美優さんはインターンシップ

佐賀大学では、2021年10月、学生広報スタッフによる大学のPRや情報発信を開始しました。広報委員の初期メンバーとなつたのは芸術地域デザイン学部の4人。彼らは大学での学びを生かし、さらに学外でも多くの人々とつながつて多彩な活動を行つており、その視点と発信力に期待が寄せられます。

学びを超えて  
積極的に発信する  
メンバーで始動  
**「学生広報スタッフ」**





プロジェクトごとに学部を超えてチームを編成し、VRや3Dを使ったコンテンツの開発研究、動画制作、各種広報誌の制作に取り組んできた。企業や自治体から直接、制作依頼・相談があり、「任せてもらえるのが嬉しい」と話す。その期待に応えるため、制作に没頭する日々を送った

先で佐賀の魅力を紹介するYouTubeチャンネルを制作。ユーチューバーのごとく自らカメラを持つて毎週リポートと編集を行いました。益田祐輔さんは次世代コンテンツの制作・開発を目的とした「N-project」の立ち上げ、企業とプロジェクトーションマッピングの制作、オープンキャンパスの映像中継の実証実験と幅広く活動してきました。

**世界は変わる**  
人ととのつながりで  
世界は変わる  
発想力と行動力にあふれ、創造性に富む彼らの活動と作品は学内外で注目を集めてきました。それらの多くは人と関わって生まれたもの。それぞれの活動を通して彼らは「人とのつながりの大切さを実感する」と話します。

相崎さんは、幅広く多くの学ぶ授業は視野を広げる利点があるものの、「物事を深く知るには自らの行動が必要」だといいます。そのため、興味を持った活動に積極的に参加してきたとか。社会人と出会い、専門分野の助言を得て知識や行動力が増していくと振り返ります。

宮崎さんはもともと引っ込み思案なタイプ。大学でしたいことが思

い浮かばず、漠たる気持ちで入学しました。その後、相崎さんや益田さんに刺激を受けて活動に参加。「二人を遠巻きに見ていて私がほんの少し踏み出したことで自分の世界が変わつていった」といいます。またそれまでは「良い作品になるかどうかは自分の努力次第」と考えていたましたが、質の高い作品づくりには人の助けが必要と気づき、「作品づくりを通して人との出会いに感謝するようになった」そうです。

村上さんも人との出会いを喜んでいます。活動誌の制作を通じて後輩との深い交流が生まれ、「創作技術がないと思っていた私が後輩の力を借りて制作物を完成できたことが嬉しい」と笑顔を見せます。

益田さんは「作品づくりは1+1ではないと感じる」のだとか。一つのプロジェクトには学部、業種、年齢の枠を超えて多種多様な考え方を持った人々が参加し、それらの組み合わせによって自身の発想を超えたものが生まれているからです。個の力の足し算でなく掛け算によって、一人の力では生まれないものが生み出されていく。その思いを強くする彼らは、学生広報活動を通じて後輩たちにそれを引き継いでいく考えです。



左から『Fit ECRU』の学生編集部誌面を担当した宮崎真優さん(芸術地域デザイン学部4年/取材時)、YouTubeチャンネルを発信した相崎美優さん(同)、VRで作品を作る益田祐輔さん(同)、活動誌を制作した村上茜さん(同)

# キャリアセンターの バーチャル相談会 と動画編集で 就活をサポート

の情報発信等を手伝い、大きな戦力として活躍しています。

藤井さんが担当するのは、バーチャル空間サービス「oVice」を使った学生と企業との交流の場の運営です。

学生の就職活動をサポートする佐賀大学キャリアセンター。ここで経済学部の藤井耀さんと教育学部の藤本雄大さんはキャリアセンター

「oVice」はオフィスや教室などの仮想空間を作つて会議やイベント、授業などを行うオンラインツールで、在宅ワークやオンライン授業が増えた今、Zoom等のWeb会議ツールと並んで注目を集めています。キャリアセンターでは仮想の就職相談会場を設け、2021年夏から企業の説明会や学生同士の交

流に利用しています。アバターを使ってゲーム感覚で参加できるため、就活に本腰を入れる3~4年生はもちろん、業界の話を聞いてみたい、就活の仕方を聞きたいという1~2年生も気軽に参加することができます。

藤井さんは企業の人事担当者と打ち合わせをし、説明会の日時を決めて学生に告知等を行っています。一度参加した学生は「面白い!」と言つて活用してくれますが、学生の参加数を増やすのが課題です。「昼休みに10分程度の相談会なら学生も参加しやすいのではないか」という企業の提案をすぐ取り入れ、これからも企業や先生、学生の声を聞いて「学生が参加したくなるものを企画していく」と話します。

## 社会人とのやり取りで 視野が広がる

この運営を通じて学外の社会人と話す機会が増えた藤井さん。企業とのやり取りに責任の重さを感じ一方、「視野が広がって自分を見つ

め直すようになった」といいます。「仕事」はやりたいことだけをするわけにいかず、時には煩雑な作業や難しい局面もあり、工夫や努力をしてそれを乗り越えることも学んでいます。

「就職や卒論という“将来”的”に運営を引き受けたわけではなく、今自分に与えられたものにどれだけ力を注げるかが大事」だと思



バーチャル空間「oVice」を使って仮想の就職相談会場を開設。参加者はアバターを使い、実際に会場を訪れたような感覚で企業や学生との交流を楽しめる。レイアウト変更や企業との打ち合わせが藤井さんの役目



取材時)、バーチャル空間「oVice(オヴィス)」の運営を担う藤井耀さん(経済学部経営学科2年/取材時)



第2火曜にライブ配信している『キャリラジ』。先生の軽妙なトークをいかしつつ、最近は自分のコメントを加えて面白みのある番組に仕上げている

藤本さんは高校生の頃から動画の撮影編集を行つており、その経験を買われてセンターから誘いを受けました。学生に依頼した理由を、学生生活課の鳥巣早紀さんは「たどえ就活のための動画でもより良いものが藤本さんです。

ようになりました。実際に毎日数時間で運営にあてて改善を重ねており、「1~2年後、あのとき頑張ったことが今につながっているんだと思

えたらしい」。今が未来につながる。それを信じて藤井さんは日々奮闘しています。

## 『キャリラジ』動画編集と

### 企業のPR動画を制作

キャリアセンターは、「ゆるく人生について考え方」をコンセプトに、動画配信型ラジオ『キャリラジ』を毎月第2火曜日に配信しています。配信後に動画を編集し、見逃した学生に向けて再配信しているのが藤本さんです。

藤本さんは高校生の頃から動画の撮影編集を行つており、その経験を買われてセンターから誘いを受けました。学生に依頼した理由を、学生生活課の鳥巣早紀さんは「たどえ就活のための動画でもより良いものが藤本さんです。



左)「学生らしい自由な発想に期待した」と学生生活課の鳥巣早紀さん。「彼らの腕はどんどん上がり、学生と思えない出来」と喜ぶ。右)『キャリラジ』の編集をする藤本さん。字幕だけでも内容がわかる動画にしようと工夫を重ねている

の仕上げないと学生は見てくれない。同じ学生である彼の視点と発想に期待した」と語ります。センター長の羽石寛志先生と山内一样先生が語る『キャリラジ』は脚本があつてないようなもの。藤本さんは動画を何度も見直して重要なと思うセリフを字幕にし、わかりにくく説明には注釈をつけたり、改めて写真撮影に出かけたりして先生の意図が伝わるように工夫しています。最近はこれと別に企業からPR動画作成の依頼が増え、社員インタビューに出かけることも多くなりました。藤本さんのクオリティの高い動画に企業からは喜びの声が寄せられています。

これらの制作を一任されている藤本さん。その信頼が自身の探求心と向上心につながつており、わからないことは自ら調べ、人気動画を見て研究するほどです。視聴者数を伸ばすため試行錯誤は続いていますが、視聴者や依頼主の企業のニーズを考えて創意工夫するようになり、この経験が将来仕事をとする教育の場で生きるだろうと考えています。「教育現場は対面でのコミュニケーションが理想ですが、コロナ禍の中そういうもいきません。コミュニケーションに大切なものは対面か

デジタルかといった手段ではなく、相手への思いやりだと感じます」と話す藤本さん。企業の方々とのやり取りは相手の都合や言葉遣いを考えるきっかけに、視聴者を思うことは客観的な視点を持つことにつながりました。「直接会う企業の方、画面の向こう側にいる視聴者、それぞれに合ったアプローチの仕方を考えるようになつたことは僕にとって大きな成長です」

# 本学研究者と 企業や自治体 とを結ぶ URAの精銳たち

佐賀大学には、研究力向上のための支援や、産学官連携による社会貢献・研究の支援を行う「リージョナル・イノベーションセンター」があります。ここで研究活動の企画・運営・成果の発信まで多様な業務を担っているのがURA（University Research Administrator）の皆さんです。URA



2017年10月に発足したリージョナル・イノベーションセンター（旧産学・地域連携機構）で働くURAの皆さん。左から、大手機械メーカー退職後、同センターに勤務する平山伸さん、私立大学での勤務経験も生かす大野富生さん、各種企業で働き、起業経験もある出田光太郎さん、メディアでの勤務を生かす三島舞さん

てきた4名の精銳が揃いました。URAが必要とされる理由について主任の出田光太郎さんは、「先生方は研究や論文執筆に忙しく、助成金や知財管理の情報収集・申請、研究プロジェクトの企画立案などにあてる時間をなかなか捻り出できません。そこを我々がお手伝いしようというわけです」と話します。

佐賀大学は、ダイヤモンド半導体、海洋エネルギー、シンクロトロン光、再生医療などノーベル賞を狙えるほどの研究を行い、実海水を使つた海洋温度差発電、高オレイン酸含有大豆の開発など、地域色あふれた研究も多く行っています。

研究レベルの高さは関係者に知られていますが、一般的の認知はまだ不十分。産学官連携には専門的な研究をかみ砕いて説明する必要があります。そこでURAの出番。研究を“翻訳”することで理解者が増えていきます。より深く厚みのある研究を行い、地域貢献するためにもURAの力が必要なのです。

また、先生方の研究の中に共通項目を見つけることがあります。学部を超えた先生同士の交流は少ない

は研究の助成金申請の助言や、企業・自治体と大学の研究者とを結んで産学官連携を図る役目を担い、ジヨナル・イノベーションセンター」があります。ここで研究活動の企画・運営・成果の発信まで多様な業務を担っているのがURA（University Research Administrator）の皆さんです。URA

佐賀大学には、研究力向上のための支援や、産学官連携による社会貢献・研究の支援を行う「リージョナル・イノベーションセンター」があります。ここで研究活動の企画・運営・成果の発信まで多様な業務を担っているのがURA（University Research Administrator）の皆さんです。URA

ため、俯瞰で見ている方が気づきやすいのだとか。実際に成果も出ています。例えば、藻類の研究を通して農学部、理工学部、医学部の先生が連携し、「新しい藻類産業の創出」を提案しました。「これは総合大学だからこそできる利点」だと思います。「学部横断的な連携によってダイナミックな研究ができる」と期待も膨らみます。



佐賀大学Project SAから微細藻類「新」産業の提案

## 新しい藻類産業の創出 Project SA 部会の紹介

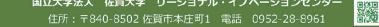
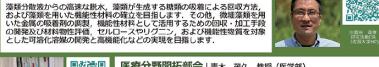
Project SA 部会の紹介



佐賀市内に生息する黒斑両生を生物資源として活用するため、佐賀市内の沿岸、クリークなどにおける多様性調査を行い、様々な群類の微細獲獲器リモート（伯佐株）コレクションを確立します。同時に、増殖力、有用成分の分析、大量培養技術開発のための小規模培養実験も実施し、本部よりサンクス



シングル、医薬品や健康食品として有用な物質の探索を実施します。



—11— ピコギル 1/8 ピコギル

上)リージョナル イノベーションセンターがある「産学交流プラザ」。右中)今後イベント等検討されている中央吹き抜け。右下)同 1 階では大学の歴史なども紹介。モニターで研究内容等を紹介していく予定。左下)農学部、理工学部、医学部の先生方が連携して発表した「新しい藻類産業の創出」。藻類という一つの研究テーマが大きく広がった

目標は「基礎研究を支え、地域や企業から頼りにされるシンクタンクになる」こと。研究のシーズは地域にたくさんあるといいます。例えば「摘み取つた果物を運べない」という農家の声を聞いて人追従型収穫機搬送ロボットが生まれたように、地域に役立つ研究が研究室にまだ眠っているかもしれません。「研究とは無縁と思われる地域の方々の話の中に、ノーベル賞につながるような研究のヒントがあるかもしだれ

研究のシーズを  
地域で見つけ  
シンクタンクを目指す

先生や企業・自治体の間に立つU.R.A.の皆さんにとってコミュニケーションは必須。研究や授業の合間を縫つて研究室を訪れ、最新の研究報告を聞き、それに結び付く他の研究や技術はないか、メンバーと日々議論

弱の先生と話すには時間が足りず  
現在研究を把握できている先生は  
100人ほどだとか。「まず我々が一  
人でも多くの先生と親しくなり、研  
究を理解することが重要。それが先  
生同士の連携へつながっていく」

ない。それを拾つて研究につなげていきたい」と話します。

東証一部上場の株式会社オプティムのように、「佐賀には国内外で活躍する可能性を秘めた企業や人がたくさんいる」とい、その発掘も楽しみの一つです。足を運び話し、見て、言葉を駆使するという五感を使つた手段でコミュニケーションを取る皆さん。培われた「経験」と「ひらめき」が小さなシーザーの見極めにひと役買っています。

U R A の 取 り 組 み <https://www.suric.saga-u.ac.jp>

- 1) 佐賀大学微細藻類バイオマス研究プロジェクト  
学部横断型のプロジェクトで地域に貢献
  - 2) 新発想の分野横断型研究による熱交換器の開発  
熱エネルギーとプラズマ加工の異分野の融合で新たな熱交換器を開発
  - 3) URA 主導での海洋関連特許の出願  
得られた研究データを強い特許に再構成して出願

その他)自治体との共同研究および受託研究

佐賀市、神埼市と実績増。佐賀県との連携調整会議でも共同検証を開始。有田町と本学  
今後、志野ヶ里町、多可町と理工学部との連携拡充など、多彩な共同研究が期待される。

# 社会で輝く 先輩からのメッセージ

2020年度の卒業生・修了生の就職率は

**97.0%** (2021年5月1日現在)

と近年高い数値を維持しています。

佐賀大学から巣立ち、いま社会で活躍する先輩から  
就職を目指す在学生へのメッセージを紹介します。



大空を飛翔するカラガラス

## 医師には体力と英語力も大切 コツコツ頑張る習慣は将来に役立つ

医療の大切さを知ったのは小学生の時、祖父が病に倒れたのがきっかけです。どんな状況でも冷静な判断ができ、患者さんを治すことのできる技術と知識を持つた医者になりたいと思いました。外傷外科に興味を持ったのは大学の講義からですが、子どもの頃『ブラックジャック』に憧れていたのも自分の将来像に影響を与えたと思います。

医学部時代は、真面目に頑張る学生だったと思います。もっと学んでおけば良かつたと思うのは英語です。英語論文を読む機会が増え、将来英語で論文を書き発表することもあるからです。いま学生の皆さんに勧めたいのは、体力作りと勉強。医師は体力勝負の仕事です。診療科にもよりますが、朝から晩まで立ちっぱなしの日もあるので体力があるに越したことはありません。

忙しい毎日ですが、ゆっくり寝たり、YouTubeなどを見たり、料理を作ったり

して息抜きをしています。休みの日はだいたい家事に追われています(笑)。今は研修医という見習いの立場で直接治療方針を決めたりできませんが、患者さんの問診、診察、先生方の手伝いをしたり、簡単な手技などを行っています。今後の目標はもちろん早く一人前の医師になります。そのため一日一日を頑張っています。



新藤 優里  
SHINDO Yuri

筑紫文学園高等学校  
医学部医学科 2021年度卒

佐賀大学医学部  
附属病院



kachigarasu Message

**勉強は無駄になりません。  
コツコツ頑張る習慣を  
身に付けておくと将来役に  
立つかかもしれません。**



佐賀 大学

学生時代の時間は有限  
充実した経験が将来の財産になる

低中高の学級担任を経験した後、現在、英語専科教員をしています。外国語科と外国語活動の授業を担当しており、約20クラス600名近い児童の評価を担っています。

2校兼任なので、午前と午後で学校間を移動する日もあります。電子黒板やタブレット端末といったICTを活用しながら活動する日もあります。

学生時代の一番の思い出は3年生での教育実習です。未熟な授業でしたが、試行錯誤の末、「梅崎先生の授業が楽しみ!」と言つてくれた児童の笑顔は今でも鮮明に心に刻まれています。

皆さんには、今しかできないアルバイトを多く経験することをお勧めします。社会になると、基本的に一つの職業を何十年と続けます。教員の場合、副業はできないので、視野が限られることがあります。だからこそ



kachigarasu Message

将来の自分から「ありがとう」と感謝されるように、キャンパスライフを充実させてください。

低中高の学級担任を経験した後、現在、英語専科教員をしています。外国語科と外国語活動の授業を担当しており、約20クラス600名近い児童の評価を担っています。

2校兼任なので、午前と午後で学校間を移動する日もあります。電子黒板やタブレット端末といったICTを活用しながら活動する日もあります。

学生時代の一番の思い出は3年生での教育実習です。未熟な授業でしたが、試行錯誤の末、「梅崎先生の授業が楽しみ!」と言つてくれた児童の笑顔は今でも鮮明に心に刻まれています。

学生時代の時間は有限  
充実した経験が将来の財産になる



梅崎 雄輝

UMEZAKI Yuki

佐賀龍谷学園龍谷高等学校

文化教育学部

教科教育選修英語教育分野 2014年度卒

鳥栖市立鳥栖小学校  
田代小学校

何事にも全力で取り組んだ経験は  
さまざまな仕事をする上で支えになる

学内の滞在時間がとても長い学生でした。日中は研究室、実験後は管弦楽サークルへ行き、帰宅はほぼ終電で毎日が充実していました。大学院まで進学したので、学びを活かせる食品メーカーへと考りました。当社を志望したのは説明会で商品への熱意を強く感じたこと。看板商品でも常にリニューアルし、とことん突き詰める姿勢に魅力を感じました。

現在は商品開発部でふりかけやお茶漬け、スープなど乾燥品の設計を行っています。味のイメージから原材料など選び、組み合わせや割合を考えます。イメージが湧かない時は実際に調理、他の商品を皆で試食することも。工場で大量生産しても品質が変わらないよう工夫したり、包材を考えたり、パッケージ裏の一括表示や栄養成分表示を作成したり。食品に関する法律などの知識も必要です。

学生時代の一番の思い出は3年生での教育実習です。未熟な授業でしたが、試行錯誤の末、「梅崎先生の授業が楽しみ!」と言つてくれた児童の笑顔は今でも鮮明に心に刻まれています。



kachigarasu Message

特別でなくても、  
目の前のこと一生懸命取り組むうち  
自然に武器となります。  
自信を持って!



今村 莉子

IMAMURA Riko

佐賀県立鳥栖高等学校

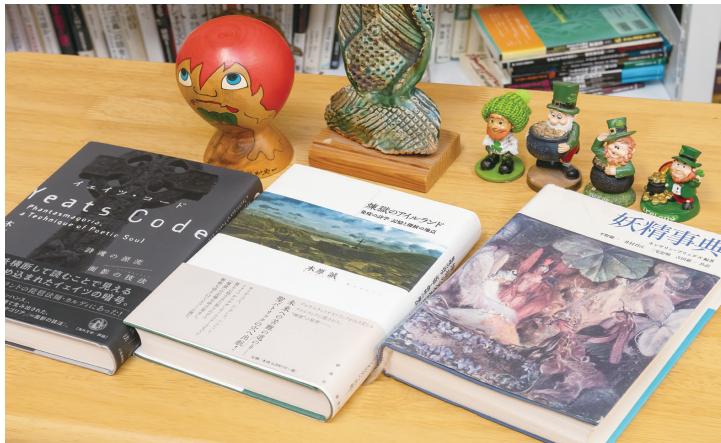
農学研究科 2020年度修了

丸美屋食品工業(株)



# 人の想像力と心の豊かさを育み 異文化理解に通じる「妖精学」研究

教育学部 学校教育課程 教授  
木原 誠 KIHARA Makoto



木原先生の著書(左2冊)と妖精約400種類が掲載された事典

がら個人的に「妖精学」の研究を続けていましたが、ある時、「異文化理解」という分野の中で妖精を題材にした授業を行っています。20歳の頃、アイルランドの西端スライゴー州ギル湖に浮かぶイニスフリー島で妖精と出会ったことが、「妖精研究」の始まりです。白鳥の背中に乗って遊ぶ50cm程と小さくも神々しい姿に強烈に心を奪われ、以来その存在を追つて世界各地を放浪しました。

英語講師などの仕事をしながら個性的な学問で決してメジャーではない学問ですが、敷かれたレールのない世界だからこそ、自ら道を切り拓いていくことにやりがいを感じております。

## 「楠豆子」「ミイ」も妖精?

妖精を幽霊や妖怪などと似たような存在だと考える人もいるかと思いますが、決定的な違いは実体があるかどうかです。

幽霊は見える人と見えない人がいますが、妖精はそこに存在すれば必ず見えるものです。妖精と妖怪の違いに関しては研究者の中でも意見が分かれますが、私は「人間が彼らに恋愛感情を抱く可能性があるか」を主な判断基準

を本質的に理解することは難しく、想像力が枯渇するであります。妖精や死後の世界とと考えています。

## 妖精から教わる「想像力」

異文化理解とは、国や地域の間だけのものではありません。「あの世とこの世の違い」という究極の異文化を、二つの世界に介在する妖精が教えてくれます。文化とは本来、生者も死者も過去も未来も合わせてあります。そして豊かな想像力は、自分自身を理解すること、他者の存在や気持ちを思いやることにもつながります。私に

とつて妖精とは研究対象というより敬愛する「お師匠様」。今後も妖精が教えてくれることを探求し続け、その学びやワクワクする感情の大切さを、学生の皆さんに伝えていきたいと思います。



アイルランドの妖精の置物と妖精レブランが作った鞄。右上写真の人形は、沖縄の妖精が建てたという家に住む方から先生が購入したキジムナ



研究室のドアにはアイルランドの妖精「レプラーの交差点」と

## 妖精学の道を切り拓く

て成り立つものではないでしょうか。今、目の前に見えているものだけを見ていたら、文

化を本質的に理解することは難しく、想像力が枯渇するでしょう。妖精や死後の世界と

にしています。例えば、「ムー」に登場する「スナフキン」「ミイ」は人間ではなく妖精。

いるものだけを見ていたら、文

化を本質的に理解することは難しく、想像力が枯渢するであります。妖精や死後の世界と

します。そして豊かな想像力は、自分自身を理解すること、他者の存在や気持ちを思いやることにもつながります。私に



# 画家、教員、YouTuberとして 学生と共にキャンバスに向かう

芸術地域デザイン学部 芸術表現コース 准教授

小木曾 誠 OGISO Makoto



小学生の時ルノアールの絵画に感銘を受け画家を志した

下地に  
講師バイトが教師の  
絵画の講師のアルバイトをして  
いました。大学4年生の時は卒業制作に明け暮れ、積極的に教えるというよりは教え子にその姿を見せていただけでしたが、受け持つた予備校生20人のうち4人が倍率約35倍の東京藝術大学に合格。この経験を通して、教師が自由にやっていた方が案外学生は伸びる、そして教師も作品を作り続けるべきだという考えが生まれました。

**己の尖る部分を磨き続けて**  
学生は自分自身に尖るものを見つけ、磨き続けてほしいと思います。今は何となく80点を求めるが、少しでも目立つと叩かれるような風潮も感じます。が、美術というものは100人

です。学生向けに始めた動画ですが、一般公開したところ、2年間でチャンネルの登録者数は2万人を超えるました。中でも学生の作品講評から派生した、一般視聴者の作品を講評する「鬼講評」シリーズが人気です。

Tuberという肩書きを持つて活動しています。YouTube配信はコロナ下の授業方法として2020年3月にスタート。デッサンから水彩画、油絵、教養系動画まで幅広く投稿しています。学生向けに始めた動画

教員をしながら画家、YouTuberという肩書きを持つて活動しています。YouTube配信はコロナ下の授業方法として2020年3月にスタート。デッサンから水彩画、油絵、教養系動画まで幅広く投稿して

海外各地から多数のコメントが寄せられたり、絵画教室に通うのが難しい障がいを抱えた方や、ご高齢の方にも喜ばれるなど、思われぬ反響に私自身が驚いています。

## 下地に 講師バイトが教師の

私は学生時代、予備校などで絵画の講師のアルバイトをしていました。大学4年生の時は卒業制作に明け暮れ、積極的に教えるというよりは教え子にその姿を見せていただけでしたが、受け持つた予備

校生20人のうち4人が倍率約35倍の東京藝術大学に合格。この経験を通して、

佐賀大学着任直前には、美術界の要人數名に「教師になると絵を描かなくなる」と猛反対されました。しかし、その言葉を裏切るよう今も時間を見つけてはキヤンバスに向かい続けています。また着任時「佐賀大学を全国区にする」と決意表明しました。その後数年して教え子の一人が24歳という若さで、洋画界で権威ある昭和会賞を受賞。教え子の多くが東京で活躍しており嬉しく思っています。



秋の個展に向けて描いた作品。モデルは学生



【絵が上手くなりたい貴方へ】プロが知ってる上手くならない人の特徴教えます！[For those who want to improve their painting]

24,865回視聴・2021/05/05

715 低評価 共有 三+ 保存 ...

小木曾 誠 Painter MAKOTO OGISO

チャンネル登録

YouTubeでは技法も全て公開



に1人が大好きだと言つてくれればいい世界です。今後、世の中は変わり続けていくでしょう。より多様な働き方が求められるからこそ、何か一つ特化した能力を身につけておく必要を感じます。また自分はいくら収入があれば幸せに暮らせるかなど、価値基準を明確にしておくことも重要でしょう。もし絵を極めたいなら、私より時間を費やすべきっとプロになれます。頭の中を制作でいっぱいにして、手を動かし続けてください。今年秋には、佐賀県立美術館で大規模な個展を開く予定です。ぜひ会場へお越しください。

感染制御部が勧める新型コロナ対策は  
基本的な取り組みと心の安定が第一

佐賀大学医学部附属病院 感染制御部 部長

青木 洋介 AOKI Yosuke



## 県内コロナ感染対策に尽力

本学医学部感染制御部では  
各種感染症の診療および院内で

剤耐性\*対策普及啓発活動表彰において厚生労働大臣賞を受賞しました。



## 新型コロナワクチン接種の様子

## 体と心を 守るために

す。2016年には「卒後初期の適正使用の実践・啓発の10年に及ぶ取り組み」が、国の第1回薬

ん。予防衣の着脱や室内の動線の分け方など、皆様がわからず困つて、らつしやることについてご説明し、安心していただけるよう努めています。

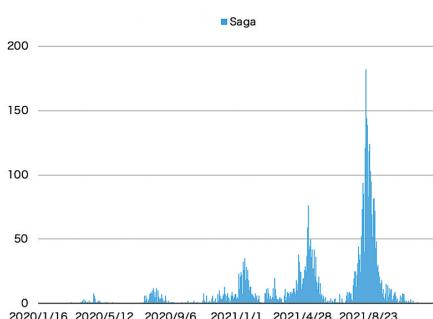
新型コロナウイルス感染症を取り巻く状況は変化を続けていますが、個人が心がけるべきことは一貫して変わりません。重要なのは人が多い場所でのマスク着用

現もあり、かえつて不安を助長する事には不確かな情報や大げさな表記には注意してください。由々の情報を入手したくなる気持ちも心を守ることも大切です。多くはわかりますが、テレビのニュースなどを見過ぎてしまふことはあります。ワクチンについては、基本的に受けた方がよいと考えています。

手指消毒の徹底という基本的な対策です。この感染症は飛沫で伝播しますので、布やウレタン製より通しにくい不織布マスクが有効です。空気感染はしませんので、散歩中など屋外で近くに人がいない場合は着用する必



感染予防にはマスク着用と手指消毒が有効



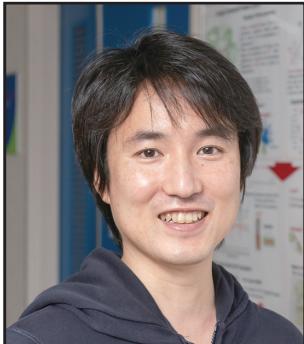
急増した陽性者数は急減する傾向があるのがグラフから分かる(厚生労働省オープンデータより作成)

クを通り抜けて人体に侵入したり、消毒が効かなくなったりすることはありません。状況は刻々と変化していますが、まずは落ち着いて過度に恐れず、これまで通りの対策を続けていきましょう。(2021年12月15日取材)

## 過度に恐れず日頃の対策を

させられることもあります。

※薬剤耐性：細菌が持つ薬剤への耐性。元々持っているものもあるが、突然変化し耐性を得る場合も。

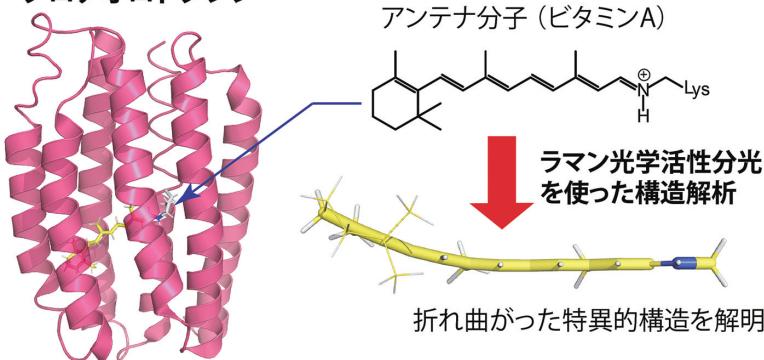


# 本学独自のラマン光学活性分光法で 光受容タンパク質の構造を解明

理工学部 理工学科 化学部門 準教授

藤澤 知績 FUJISAWA Tomotsumi

## プロテオロドプシン



プロテオロドプシンが持つアンテナ分子の折れ曲がった特異的構造を解明

唯一無二の研究

シンの活性部位(タンパク質内)の構造の解明に取り組みました。その結果、プロテオロドプシンの活性部位にあるアンテナ分子(ビタミンA)が、折れ曲がったような特異な構造を持つことが分かりました。この立体制的な構造情報を得ること

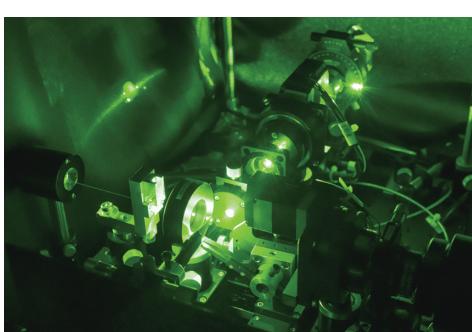
物質に光を照射した際の散乱光を分析して、物質を構成する分子の振動運動を検出する方法を「ラマン分光法」といいます。本研究では円偏光という性質をもつ光を用いた「ラマン光学活性分光法」を佐賀大学で独

**医療応用への可能性も**

どができるのは現在のことごとく  
マン光学活性分光法ただ一つです。また、このように光を使つて  
分子の立体構造を調べられると  
いうこと自体も一般にはあまり  
知られていないこととか思いま  
す。光を使った技術の一つとして  
皆様に興味を持つていただけた  
ら幸いです。

医療応用への可能性も

動プロトンポンプを持つていることが判明して、プロテオロドプロシンと名付けられました。この発見は太陽光エネルギーの新しい利用機構を示したことで注目されました。またが、プロテオロドプロシンの構造の解明は遅れていきました。そこで私は、本学の海野雅司教授らと共に研究を始めました。



## ラマン光学活性分光の装置



## アメリカ留学先の教授、仲間たちと

ます。例えば光の力で、人の食欲を増進させる、動かなくなつた手や足を再び動かす、といった医療応用も将来的には可能になるかも知れません。

# ノリの健康増進機能を引き出し 新しい発酵食品を完成

農学部 生物資源科学科 生命機能科学コース 教授

濱 洋一郎 HAMA Yoichiro



## 排泄されていたEPA

EPAとは青魚などから摂取できる必須脂肪酸の一つで、血液をさらさらにする効果があるといわれています。特定保健用食品や健康食品に用いられるほか、高脂血症の治療薬として認可されています。ノリ

を含む藻類は、魚類に替わる高度不飽和脂肪酸の供給源としても注目されています。そこで乾ノリに約4%含まれる脂質の脂肪酸組成を調べたところ、EPAが全脂肪酸の半分以上を占めるという他に類を見ない特徴があることがわかりました。しかし、ノ

リに含まれる脂質は粘性の高いポルフイランという多糖で覆われていることなどから、EPAも人の体に吸収されず排泄されていることなどが考えられています。

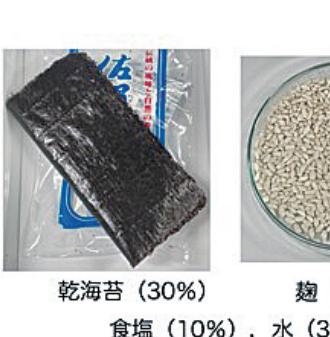
## 体が吸収する 形態へ変化

ノリのEPAは脂質中にエステル結合して存在しています。これを人の体で利用可能な状態に変えることができないかと考え、光武進准教授と卒論学生の皆さんとともに研究を進めきました。

最初は生ノリに食

べて発酵させるとEPAを含む脂質の形態がほんのわずか変化しました。そこで着目したのが、ミリン粕や酒粕と乾ノリ、食塩を混ぜ合わせて発酵させるとEPAを含む脂質の形態がほんのわずか変化しました。そこでは、ミリン粕や酒粕の原料である麹です。麹を乾ノリ、食塩、水と混せて発酵させたところ、EPAの遊離脂質中の結合から離れて遊離脂肪酸になりました。さらに、乾海苔の3分の1を占める粘性多糖ポル

Faculty of Agriculture, Saga University



ノリと麹から発酵食品ができる仕組み



味噌のようにさまざまな使い方ができるノリの発酵食品

## ノリ加工品として期待

こうして私たちが完成させた発酵食品はそのままでも非常に美味で、また、お湯に溶いて味噌汁のようにしたり、生野菜に付けたりと幅広い食べ方が可能です。また、この発酵食品中の遊離EPAのように遊離脂肪酸を含む食品を食べると、抗肥満や抗メタボなどへの効果も期待できることが分かつきました。ノリは佐賀県の基幹産業の一つですが、近年消費が伸び悩んでいます。乾ノリはそのままで充分に美味しい食品ですが、健康増進機能を備えた加工品として定着し、ノリの消費拡大とノリを愛する人々の健康増進に貢献できれば幸いです。今後も研究を重ね、ノリの新たな可能性を探求していく所存です。

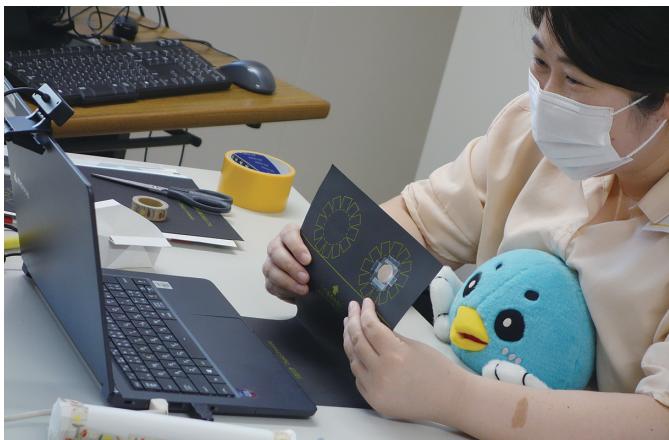
乾ノリ中のEPAとは異なり外部水溶液中に溶け出すことも確かめました。これらの結果、ノリのEPAが麹との発酵によって体内で利用できる状態に変化していることが強く推察されました。





# 全国女性技術職員による親子のための オンラインサイエンスイベントに参画

総合分析実験センター 樹立職員  
森 加奈恵 MORI Kanae



オンラインサイエンスで分光筒の作り方を説明する森さん



### 分光筒の完成形

**研究を応援する技術職員**

大学の技術職員は一般に教育研究支援業務を主とする「教室系技術職員」と、大学施設の業務を行う「施設系技術職員」に分かれ、理系学部や支援センターを中心に配置されています。本学の教室系技術職員は約40名在籍しており、うち10名が女性技術職員です。私たちが所属する総合分析実験センターは本学で唯一全学部の教員・学生が共同利用できる研究設備を扱う部屋で、2年ほど前から学外の方の利用も受け入れています。

の皆さんのが研究や実験で実現したいことを応援する役割です。「このような実験を行いたいのですが、どの機械を使つたらいいですか?」といったご相談を受け、お調べした結果から実験が成功し、感謝の言葉をいただけるとやりがいを感じます。

光の仕組みを楽しく体験

「親子で遊ぼう！女技の夏休みオンラインサマーエンス2021」です。

昨夏、全国の国立大学の女性技術職員50名ほどがオンライン上に集結し、子どもたちに科学の面白さを体験してもらうイベントが開催されました。大阪大学部局横断型女性技術職員ネットワークの主催による

子どもたちは大変意欲的に取り組んでくれました。分光筒を持つて家中を駆け回り、いろいろな光を見て楽しんでいた姿が画面越しに印象に残っています。また「たくさん」の女性科学者の姿を見せていただき、女性科学者の活躍する姿をリアルに感じることができた「技術者になるためのイメージがしやすかつた」となどの感想もいただきました。

ため「分光筒」という装置を自作できるキットを用意し、事前に参加者へ送付しました。分光シートを取り付けた万華鏡のような黒い筒を覗くと、蛍光灯は7色に、LEDは3色に分かれています。

今回行つたのは「光」をテーマとした科学実験です。光はさまざまな色が混じり合つて構成されていることを体感してもらうため「分光筒」という装置を自作



佐賀大マスコットキャラクターのカッキーくんも協力



左から、河端さん、森さん、新地さん、吉田さん

研究を応援する技術職員

技術職員の魅力を発信

14 Saga University

# 日本酒と女の子の 架け橋となれるように

ます おか  
あか ね  
**桜岡 明音さん**  
経済学部経済法学科4年



## 毎月日本酒イベントを主催

長崎出身、佐賀に来て4年になる  
桜岡明音さん。日本酒が大好きなあ  
まり、全国各地で毎月2回以上、佐  
賀のお酒を紹介するイベントを運営

しています。各地の日本酒バーで金・  
土・日の3日間開催。毎晩7時間ほ  
ど店に立ち、お客様の好みを聞き出  
しながらオススメの日本酒をセレク  
トします。「笑顔で穏やかに接するこ  
とで、いい気持ちで帰ってもらえるよ  
うに心がけています」

## 悔しさが想いを強くする

ある日母親からもらった日本酒を  
飲んで、「白ワイン?米のジュース?」  
と感じるようなクリアな美味しさに  
驚いたのが日本酒との出会い。どうぶ  
り日本酒の奥深さに魅了され、居酒  
屋では日本酒しか飲まないようにな  
ったそうです。しかし、「日本酒好  
き」を謳うことで男性から引かれた  
ことや、日本酒に苦手意識を持つて  
いる同世代の女性の姿を見たことも、  
日本酒に対しての偏見を払拭し、皆

がその奥深さに気づけるようなイベ  
ントを開催したいという想いが膨ら  
みました。

## 日本酒イベントで 春からは全国を回りたい

居酒屋やフリーランス養成合宿な  
ど、行く先々で繋がる人との会話か

ら新たな企画が生まれていきます。  
「これからもイベントを継続的に  
開催し、自分の声で佐賀の日本酒を  
全国に伝えていきたい」と語る桜岡  
さん。現在ブームとなっている「低ア  
ルコール日本酒」に注目し、若い女性  
を中心により幅広い層に日本酒の  
魅力を広めていきます。



長崎県壱岐市で開催した「日本酒×キャンプ」のイベント





# 部活動の現状を変えたい! クラファンで実現目指す

きた はら まさ ひろ  
**北原 誠大さん**  
教育学部小中連携教育コース3年

県立鹿島高校の同級生で仲間同士で好きなことをして働きたい」という共通の想いを抱いていた北原さん達。メンバー4人別々の大学に通うなか、昨年4月にW—DEを設立しました。不安を感じていた活動初期、「note」というブログサイトで部活動指導者に関する問題提起を熱く書き起こしたところ、賛同しサポートしてくれる大人との出会いが。「佐賀のいいところは、優れた大人の方とすぐ繋がれるだけでなく、本気で向き合ってくれるところです」

仲間同士で好きなことをやっていたい

す。先生・学生の身体的・精神的負担につながる「未経験競技の指導」という課題に、財源と人材の面からアプリーチ。指導者不足に悩む部活動と外部指導者をマッチングする「すくすくボ」の実現化を目指します。昨年11月に行われた県主催のビジネスコンテストに出場し、優秀賞を受賞しました。

部活動に外部指導者を届ける  
サービス「すぐスボ」とは

た。再来年開催予定の「SAG202  
4国スپ・全障スپ」や、文部科学省  
が更なる促進を計画している部活動  
外部指導者導入の制度など、スパー  
ツに関して勢いのあるこのタイミング  
で起業し、ひとつの事例を作り上げ  
「佐賀モデル」として全国に広めてい  
きたいと意気込んでいます。

佐賀で起業し、  
全国へ浸透させていく



2021年11月「さがラボチャレンジカップ2021」にて優秀賞受賞



左から宮崎直偏さん、相崎美偏さん、村上薫さん、益田祐輔さん

クラウドファンディングサイト

部活動に外部指導者を届けるためのサービス「すくすぷ」の開発

た。再来年開催予定の「SAG202  
4国スپ・全障スپ」や、文部科学省  
が更なる促進を計画している部活動  
外部指導者導入の制度など、スパー  
ツに関して勢いのあるこのタイミング  
で起業し、ひとつの事例を作り上げ  
「佐賀モデル」として全国に広めてい  
きたいと意気込んでいます。

学生広報スタッフが取材しました

### 【取材を通して】

桜岡さんの“好き”を突き詰める姿勢、北原くんの想いと行動力が印象に残りました。今回の記事が、これから活動を始めたいと思っている学生のきっかけになれば嬉しいです。

今後も学生広報スタッフは、活動に取り組む学生を取材し応援していきます！

\*特集(2~3ページ)もご覧ください。



## サークル紹介



### アメリカンフットボール部

「九州制覇」を掲げて  
最強のTOMCATSを目指す



Instagram: @tomcats.saga  
Twitter: @TOMCATS\_



アメリカンフットボール部「TOMCATS」です。九州1部リーグに所属しており、選手14名、マネージャー4名の計18名で活動しています。

3年前、TOMCATS史上最高となる1部リーグ3位という成績を残しました。昨年と一昨年はこの成績を超える目標を掲げて活動しましたが、コロナウイルスの影響による課外活動の停止や制限のため、思うように練習できず目標には届きませんでした。そんな状況を打破すべく今年は「九州制覇」に向けて、再び最強のTOMCATSに返り咲くという思いを込めた「Revive」というスローガンのもと闘志を燃やし活動しています。

私たちのチームには専門のコーチがいません。そのため練習は学生が中心となって行っています。戦略や練習方法を学生が考えるのがこのチームの特徴です。

アメフト以外にも、小・中学校の交通安全指導や地域のごみ拾い、公民館の大掃除の手伝いなどのボランティアも積極的に行っています。地域に貢献し、地域に愛されるチームであることも私たちの目標です。

主 将  
嘉松 悠陽  
KAMATSU Yuki  
理工学部理工学科



### 医学部 軽音楽部

6月11日佐賀市文化会館で  
定期演奏会を開催予定

Twitter : @sagamed\_jazz



こんにちは！ 医学部軽音楽部「Swing Swang Swingin'」です。私たちは週2回、火曜日と金曜日に活動しています。軽音楽部という名前ですが、音楽はジャズやインストバンドのコピー、ポップス等がメインでジャンルはさまざまです。

新型コロナウイルスの影響により一昨年から定期演奏会が開催できず、演奏する機会が少なくなりました。しかしその中でも、昨年12月には部内のみでクリスマス会を開くなど、限られた時間の中で音楽を楽しんでいます。大勢で集まつての合奏はできませんが、自宅で練習できるのが音楽の良いところです。いつかくる演奏機会のために、いろんな曲を聴いたり、個別で練習したり、ささやかに音楽を続けています。趣味としての音楽は一生ものです。なかなか外に出ることのできないこの時期に、みなさんもぜひ楽器を始めてみてはいかがでしょうか。

2022年1月時点ですが、6月11日に佐賀市文化会館で定期演奏会を予定しています。ぜひお越しください！

佐賀大医学部軽音楽部  
YouTube チャンネル



部 長  
松崎 昇  
MATSUZAKI Noboru  
医学部医学科



# 佐賀大学基金ご寄附者芳名帳(令和3年7月～令和3年12月現在)

佐賀大学基金へのご協力に、心より御礼申し上げます。ご寄附いただきました方々への感謝の意を込めまして、ここにご芳名を掲載させていただきます。

## 【佐賀大学美術館募金】

青木知子様	門井エツ子様	栗原 崇様	黒岩理香様	古賀文雄様	篠塚秀美様
田中誠之様	松田敦子様	宮原榮作様	山本 良様	他2件	

## 【佐賀大学基金(一般基金)】

麻生太一様	池田 攻様	井本剛司様	岩田征夫様	江頭俊雄様	江口充治様
江口 豊様	小野恒二様	小野田光翔様	川崎絹子様	北川祐也様	北島勝則様
草場俊明様	久保田昭子様	古賀久雄様	古賀ふさ子様	古賀幸子様	坂口君代様
佐藤徹夫様	品川俊一様	白武留康様	末永邦雄様	杉町恒明様	高原宏子様
立場久雄様	角田研三様	津山美佐子様	徳永勇雄様	永瀬早苗様	永利俊治様
中溝茂樹様	西川泰右様	西山義勝様	野澤知弘様	橋本朋雄様	東島與一郎様
平倉浩治様	福嶋義和様	福田和民様	古田一陽様	前田秀人様	前田安代様
牧瀬貢様	三橋彰弘様	宮国榮様	村上 浩様	山田憲一郎様	吉田千秋様
芳野絢充様	他32件				

## 【修学支援基金】

芥川正孝様	阿部弘枝様	池尻英一様	池田昌彦様	池富香理様	石田光二郎様
浦川智子様	大家朝子様	大石剛及様	大澤千鶴様	帶田輝幸様	金子正久様
株式会社TMS様	高口義幸様	高良和義様	古賀幹大様	古賀渡様	篠原文夫様
陣内義守様	末岡榮三朗様	宋尚子様	津田信次様	中嶋真也様	野口健様
野間格様	日高良昭様	百武啓文様	福岡敏和様	藤井鹿男様	藤田正明様
藤野健一様	前田淳子様	御手洗永様	宮崎真佐也様	宮原都明様	毛利玄彰様
森田英徳様	山口末男様	山口元子様	山崎英司様	吉田修様	米倉信義様
					他24件

## 【課外活動支援基金(漕艇部)】

柏田知美様	嘉村朋顕様	嘉村真知子様	木村直也様	阪本雄一郎様	下地桐子様
竹内美香様	田中理司様	久本菜美様	他7件		

## 【課外活動支援基金(準硬式野球部)】【課外活動支援基金(一般)】【課外活動支援基金(熱気球部)】

江村 正様	須田久雄様	木戸宏幸様	本多晃一様	他1件
-------	-------	-------	-------	-----

## 【課外活動支援基金(ヨット部)】【院内保育所事業基金】【課外活動支援基金(アメフト部)】

田中里紀様	1件	1件
-------	----	----



いただいたご寄附により、奨学金の給付、課外活動の備品購入等に使用させていただきました。今後とも更なるご支援のほどよろしくお願ひいたします。  
また、多数の卒業生からもご寄附をいただいておりますが、卒業生への広報活動には佐賀大学同窓会のご協力をいただいています。この場を借りて御礼申し上げます。

- 五十音順にて掲載しております。
- お名前の公表をご希望されていない方につきましては、人数のみ掲載しております。万が一お名前が漏れている等の不備やお気付きの点等がございましたら、誠に恐縮ではございますが、佐賀大学基金事務局までご連絡ください。

### お問い合わせ先

**佐賀大学基金事務局**  
(佐賀大学総務部総務課内)

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地  
TEL 0952-28-8390 FAX 0952-28-8118  
E-mail kikin@mail.admin.saga-u.ac.jp  
URL <https://www.kikin.saga-u.ac.jp>

## 佐賀大学校友会は、在学生の海外留学、国際活動や課外活動、ボランティア活動などで頑張っている学生への支援を行っています。

※現在、新型コロナウイルスの影響により、生活困窮状態の学生への支援を行っております。

佐賀大学校友会では会員になっていただける方を募集しています。

校友会事業の詳細については、佐賀大学校友会HPに掲載しております。

佐賀大学校友会の活動についてご賛同いただきご入会いただけますようお願いします。

詳細はこちらでご確認下さい。

佐賀大学校友会HP <https://koyukai.admin.saga-u.ac.jp>

●会員制のため、ご芳名は公表しておりません。

### 問い合わせ先

## 佐賀大学校友会事務局

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地  
国立大学法人佐賀大学 本部(総務部総務課)  
電話 0952-28-8390 FAX 0952-28-8118  
E-mail : [kouyukai@mail.admin.saga-u.ac.jp](mailto:kouyukai@mail.admin.saga-u.ac.jp)



UNIVERSITY ACCREDITED  
March 2016Google forms  
アンケートです。

古橋 綾華《夢周遊》

芸術地域デザイン学部  
地域デザイン研究科  
**「卒業・修了制作展」**



山本 純香《群居》



岩本 夏月《moments ghost ∞》



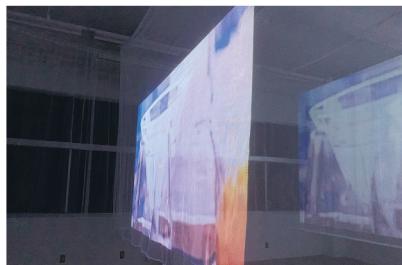
毛利 魁元《道標》



丹澤 小雪《流れのはなし》



中村 美月《かれらをおもう》



松延 怜亜《vapor》



立岡 孝子《わたしたまご》



立石桃太郎《クルミの殻、横たわる。》

限りあるスペースではあります  
が、読者の皆様におもじるーと思  
つていただける小さな切り口で  
佐賀大学の情報をお届けできるよ  
う取材を続けてまいります。  
アンケートの回答については同  
封のハガキまたはQRコードから  
回答できます。

今後の参考といったことも  
のアンケートにご協力ください。

記事として、「佐賀大学のRedesign  
(リデザイン)力」(67%)を挙げて  
いただきました。また、ダイヤモン  
ド半導体研究についても非常に好  
評でした。

佐賀県や佐賀大がなみの研究  
を取り上げてほしいとのお声を  
多くいただけておりましたので、特  
に尖りのある研究をご紹介いたし  
ました。

限りあるスペースではあります  
が、読者の皆様におもじるーと思  
つていただける小さな切り口で  
佐賀大学の情報をお届けできるよ  
う取材を続けてまいります。  
アンケートの回答については同  
封のハガキまたはQRコードから  
回答できます。

佐賀大学公式  
マスコット  
キャラクター/  
カッチャーくん



今号の表紙／佐賀大学公式マスコットキャラクターのカッチャーくん(右)と  
特集ページでインタビューをした学生さんたち(左)

